



主体的な学びへ～授業観の変換～

岩内西小学校長 古館 昭仁

10月31日（木）に、本校にて4時間目に全学級の授業公開、第二中学校にて5時間目に2年生総合的な学習の時間の公開と町内や後志管内の教職員の皆さんに多数参加いただきました。本校は日常の授業の様子を参加者の方に見ていただきましたが、2学期から全教職員で行ってきた学力向上策の成果が見られました。

① 子供が主語として活躍する授業へ

教師が一方向的に進めて行う授業ではなく、授業の7割は子供が主体的に活動する授業へ取り組んでいます。考えを書く、考えを見合う、発言する、話し合う、考えをまとめる、振り返るなど子供が何かを表出（アウトプット）することが見られます。特に「この問題は『自分で』あるいは『友達と』あるいは『先生と』考えたい」と自ら選べ、委ねることでより進んで取り組む姿が見られるようになりました。

② 単元を見通した授業づくりへ

1時間の授業だけでなく、一通りの学習（単元といいます）を教師だけが知っているのではなく、児童と共有したり、一緒に単元づくりを行うことによって、学びに見通しをもち、自分から進んで学びを進めようとする姿が見られるようになりました。

このように日常授業を充実させるように次のような取組を行っています。本校の学力の課題を克服するために、授業や放課後、家庭学習で改めて頑張ること3点を中心に行っていますのでご家庭からのご協力もお願いいたします。

どの子ども主体的に取り組めるように！

① 授業の中で子どもたちの「アウトプット」を増やす

※ アウトプット→学習や経験したことを発言や行動に表すこと(≒インプット:知識を得ること)

- ・「言葉」・「式」・「図」等で表すことを多くするようにしています
- ・タブレットを使って、他者参照（友達の考えを知る）ができるようにしています
- ・「一人で」「友達と」「先生と」自分でどれがよいかを選べるようにしています

★アウトプットを多くすることで学び方が身に付きます

② 「習熟の時間」の確保

※ 習熟→繰り返しけいこをして上手になること

- ・授業の終盤約10分ほどを使って習熟（繰り返し練習）の時間をとるようにします
- ・朝学習、家庭学習などで四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）や漢字など基礎的な学習に励んでいます
- ・家庭学習（手引きの発行）・ICT活用（スマイルネクスト）で取り組みやすくします

★ICTを活用すれば習熟の時間が増えます。

③ 授業の終わりに「振り返り」を必ずしよう

※ 「振り返り」→学習でわかったことや次がんばりたいことを自分の言葉で表現すること

- ・「わかったこと」「疑問に思ったこと」「もっと学びたいこと」を授業の終わりに書かせようとしています

★学習を振り返りことで意欲の向上のつながります

